

令和 3 年度  
長和町教育委員会の点検・評価報告書  
(令和 2 年度事業)

令和 3 年 12 月  
長和町教育委員会

## 1、はじめに

平成 19 年 6 月に学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教職員免許法及び教育公務員特例法の教育 3 法が改正され、改正教育基本法の新しい理念を踏まえた地方教育行政が行われることとなりました。

さらに、平成 26 年 12 月には地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員長と教育長の一体化など教育委員会の責任体制の明確化が図られるとともに、教育委員会が効率的な教育行政を推進し、説明責任を果たしていくために、教育委員会自らの権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

長和町教育委員会では、決算審査時に提出する町政白書にて、各事業の現状と問題点、主要な事業とその成果、また今後の対策について議会に報告をしてきたところですが、法改正の趣旨に鑑み令和 2 年度の主要な施策や事務事業の取組みについて点検評価を行い、報告書として作成しましたので報告します。

## 2、教育委員会の開催状況

定例教育委員会は毎月 1 回開催するほか、必要に応じて臨時の委員会を開催しています。

- ・令和 2 年度実績      定例教育委員会 12 回      臨時教育委員会 3 回

### 3、教育委員会会議内容

会議名等	期日	主な会議事項
4月定例教育委員会	4月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度人事異動について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症について</li> <li>・令和元年度卒業生進路について</li> <li>・令和2年度全国学力・学習状況調査について</li> <li>・令和2年度生涯学習講座・スポーツ教室の開催について</li> </ul>
第1回臨時教育委員会	4月9日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策について</li> </ul>
5月定例教育委員会	5月14日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度各学校の運営について (長門小学校・和田小学校・依田雍南部中学校)</li> <li>・小中学校臨時休校について (新型コロナウイルス感染症対策)</li> <li>・令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について</li> </ul>
6月定例教育委員会	6月1日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会6月定例会一般質問について</li> <li>・学校休校で失った授業時間の確保について</li> </ul>
7月定例教育委員会	7月1日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策について</li> <li>・学校再開に伴う児童生徒アンケート調査について</li> </ul>
8月定例教育委員会	8月4日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助（準要保護）認定審査について</li> <li>・中学校教科用図書採択について</li> <li>・長和町図書館規則の一部改正について</li> <li>・長和町公民館分館規則の一部改正について</li> </ul>
9月定例教育委員会	9月7日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会9月定例会一般質問について</li> <li>・人権擁護委員の推薦について</li> <li>・長和町古町コミュニティ施設建設検討委員会設置要綱について</li> <li>・教育委員会関係のイベント等の実施予定について</li> </ul>
10月定例教育委員会	10月2日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度決算について</li> <li>・令和2年度9月補正予算について</li> <li>・小中学校修学旅行について</li> <li>・野外展示施設名称公募について</li> </ul>

11月定例教育委員会	11月2日（月）	・古町コミュニティ施設整備について
第2回臨時教育委員会	12月3日（水）	・長和町教育委員会委員の選任について ・教育長の職務代理者の指定について ・上田市長和町中学校組合教育委員会の委員の推薦について
12月定例教育委員会	12月3日（水）	・議会12月定例会一般質問について ・野外展示施設名称について ・第16回差別をなくす町民集会について ・令和3年度成人式について
第3回臨時教育委員会	12月22日（火）	・長和町教育委員会教育長の任命について（報告）
1月定例教育委員会	1月8日（金）	・ＩＣＴ機器整備について ・令和3年度長野県立高等学校入学者選抜の実施日程について ・総合教育会議について
2月定例教育委員会	2月3日（水）	・長和町体育施設条例の一部改正について ・令和3年度教育委員会関係当初予算要求について ・児童クラブ入会申込みについて ・令和3年度成人式について ・小中学校卒業式、入学式について ・佐久大学市町村推薦入試について ・上田地域定住自立圏連携事業について
3月定例教育委員会	3月11日（木）	・小中学校卒業式、入学式について ・学区外通学について ・議会3月定例会一般質問について ・令和3年度公立高等学校入学者後期選抜志願者数について

## 4、点検・評価について

### (1) 対象事業

評価対象事業は、令和2年度主要施策の成果報告書（町政白書）に掲載された教育課関係の事業より抜粋して点検・評価の対象としました。

### (2) 評価の判断基準

評価にあたっては、対象事業ごとに現状と問題点、事業とその成果、今後の対策について検証を行い、総合的に自己評価を行いました。なお、評価基準は次のとおりです。

区分	内 容
A	成果が上がっている。期待以上
B	成果がやや上がっている。期待どおり
C	成果があまり上がっていない。期待をやや下回っている
D	成果が上がっていない。期待以下

## 5、点検・評価結果

### ◆教育委員会事務局総務関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	教育委員会	B	予定どおりの開催であり、適切な時期に審議がされた。
2	総合教育会議	B	適切な時期に、必要な内容が協議されている。
3	教員用住宅管理	C	老朽化、管理が行き届かない箇所がある。
4	通学費補助	A	町独自で手厚い支援ができている。
5	就学援助関係事業	B	町として相談体制が確立でき、適正な援助がなされている。
6	奨学金貸付事業	B	適正な時期に貸与がなされ、希望者の要望に沿っている。
7	給食無償化事業	A	町独自で手厚い支援ができている。
8	新型コロナ対策事業	A	補助事業により整備ができ、感染予防が十分できた。
9	小学校空調設置事業	B	温暖化対策として適正に事業が実施された。
10	G I G Aスクール対応事業	B	学習端末の不足により年度内の納品となつた。
11	スクールバス運行事業	B	町独自で手厚い支援ができている。

◆文化財関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	原始・古代ロマン体験館及び黒曜石ミュージアム運営事業	B	日本遺産の認定により、新型コロナ禍にありながら個人の来館者が増。
2	史跡星糞崎黒曜石原産地遺跡保存整備事業及び発掘調査事業	A	「星くそ館」の建設工事が無事竣工した。
3	「黒曜石のふるさと」創生事業	B	新型コロナ禍により委員会活動に影響が出たが、目標としたイベントの開催が実現し、予想以上の参加者を得た。
4	日本遺産事業	C	新型コロナ禍により、広域で取り組む新たな事業展開が中断している。
5	歴史遺産を活かした国際交流事業	C	新型コロナ禍により訪英や研修が中断したが、ITを通じた情報交流は続いている。
6	新型コロナ対策事業	B	新型コロナ感染状況に伴う警戒レベルの変動に合わせた入館・体験学習の実施が予定どおり動いている。
7	埋蔵文化財発掘調査出土遺物整備事業	B	男女倉遺跡群の資料整理が順調に進んでいる。
8	町内遺跡詳細分布調査	C	緊急調査が優先されたため、実施時期の変更に伴い実施規模も縮小となった。
9	町内遺跡確認調査	B	姫木平に新たな旧石器時代の遺跡が発見され、大きな成果を上げて無事調査を完遂した。
10	長久保宿・和田宿文化財施設運営事業	C	両宿場文化財施設ともコロナ禍の影響により利用者がほぼ半減。
11	歴史の道中山道整備事業	C	コロナ禍のため委員会の開催、現地指導等が中止、延期。
12	長和の里歴史館・長和町文書館運営事業	B	収蔵文書の整理収納が順調に進む。
13	町指定文化財補助・町歴史的景観保全事業補助	C	コロナ禍のため伝統行事が中止となる。

◆社会教育関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	公民館生涯学習講座	B	コロナ感染症を考慮し廃止した講座もあったが、新講座も企画できた。全般的に感染症対策に配慮しながら実施できた。
2	青少年関係事業	C	新型コロナの影響もあり、普及啓発活動がほとんど行われなかった。
3	社会体育関係事業	B	コロナ対策をしながら社会体育事業の実施ができている。
4	社会教育関係施設整備事業	A	緊急を要するものを優先的に修繕・工事を行うことができた。古町コミュニティ施設については処理を進めている。
5	新型コロナ対応事業	B	施設利用者、講座やイベント参加者用にコロナ対策用の手指消毒用アルコールを設置したり、定期的な換気を呼びかけたりした。

◆児童館・人権教育・男女共同参画・図書館関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	児童館（児童クラブ）運営事業	A	事業が期限内に適正に処理できた。
2	人権教育・人権啓発事業	C	差別をなくす町民集会を中止し、啓発放送を実施。（新型コロナにより）
3	隣保館事業	B	ふれあい館まつりを中止した。（新型コロナにより）
4	男女共同参画事業	C	広報・啓発事務にとどまった。
5	図書館運営事業	B	エコールの利用増進を図った。
6	新型コロナ対応事業	A	各児童クラブにおいて感染対策の徹底を図った。（利用者への手指消毒、マスク等）

## 6、評価対象事業の成果及び今後の対策

### ◆ 学校教育係関係

事業とその成果	今後の対策
<b>1 教育委員会</b> 令和2年度は、定例会を毎月1回（年12回）、臨時会を12月に1回開催した。	教育施策に関する様々な事項について、定例教育委員会及び必要に応じ臨時教育委員会を開催し協議を行う。
<b>2 総合教育会議</b> 平成27年度に総合教育会議を立ち上げ、令和元年度は1回開催し、教育における情報化等の状況報告、協議を行った。	教育に関する重大な施策や緊急の場合に講じる措置、また教育大纲やいじめ防止対策など協議をし、町長と教育委員会との連携を図る。
<b>3 教員用住宅管理</b> 令和2年度の入居状況は、年間入居が9戸、空きが8戸であった。	建物、設備が老朽化しており、今後も修理・交換等により対応を行っていくとともに空き部屋等の状況も踏まえ町営住宅への移管また取り壊しも含め検討していく。
<b>4 通学費補助</b> 令和2年度における助成件数は全130人、総支給額は10,092,800円であった。区域別の内訳は、丸子地域38人、立科地域16人、その他の地域72人、下宿・入寮等4人、区域外の中学校への通学者5人である。	本制度の周知を町広報紙等により行い、適切な事業の実施を行っていく。
<b>5 就学援助関係事業</b> 就学援助（準要保護）費の支給者は全22件、総支給額は490,500円であった。内訳は、小学校10人、中学校12人となっている。 入学準備金の前倒し支給は、3件171,060円の支出を行いました。内訳は小学生2人、中学生1人です。また、特別支援教育就学奨励費の支給者は6人、総支給額は124,660円である。	様々な事情を抱えた世帯も多く、非正規雇用など雇用環境や所得の伸び悩みが依然として変わらないことから、保護者への周知徹底、経済的な生活実態の把握に努め、低所得である家庭の支援をしていく。
<b>6 奨学金貸付事業</b> 令和2年度においては10件の申請があり、奨学金貸付運営委員会での審査の結果、収入基準を満たした9件の貸与が決定された。 令和2年度末の基金の額は、120,000,000円である。このうち貸付中の額が71,213,000円、現金残高が48,787,000円である。令和2年度中の利用者は、貸付中、償還中等あわせて83件となっている。	申請件数の増加を目標に、今後広報活動の強化を図る。また、給付型等奨学金制度の調査を行い、適切な制度となるよう努めていく。
<b>7 給食無償化事業</b> 食材費の支出は219名分14,383,376円、依田窪南部中学校へは128名分6,881,041円、町外の小中学校へ通う児童生徒への償還払いは6名分405,373円の支出を行った。	給食費無償化に伴い、安全安心、地元食材の活用、残飯の削減をさらに奨励していきたい。
<b>8 新型コロナ対策事業</b> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、衛生用品を整備しました。手指消毒用アルコール、換気用大型扇風機、空気清浄機等の購入を行い、2,000,000円の支出を行いました。国庫補助1,000,000円（1/2）	マスク着用、手洗い、うがい、消毒の徹底を継続する。G I G Aスクール事業により導入した端末の有効活用を進めます。
<b>9 小学校空調設置事業</b> 長門小学校 総事業費10,472千円 和田小学校 総事業費5,269千円 合計15,741千円 国庫補助4,401千円（工事費の1/3）	両校とも特別教室（音楽室、家庭科室、理科室）の空調設置が終了したが、長門小学校の心の相談室、特別支援学級、3年生から6年生までの各もう一つの教室の空調設備の導入を進める。
<b>10 G I G Aスクール対応事業</b> G I G Aスクール対応、I C T教育の推進により、各小学校の児童、教員に端末機（クロームブック）を導入した。（長門小学校167台、和田小学校57台）また、校内ネットワーク及び電源キャビネットについて、設置工事を行った。（長門小学校4,395,000円、和田小学校3,935,000円）	小学校の児童へ学習端末を1人1台導入したが、新型コロナの影響もあり年度末付近の導入となつた。教員用の学習端末の研修会を予定していたが、令和3年度引き続き実施していく。学習端末の授業への利用、家庭学習での利用について、有効活用を進める。
<b>11 スクールバス運行事業</b> 小中学校のスクールバスの運行委託に加え、蓼科高校のスクールバスについても運行業務委託を町で行った。	関係機関と協議し、適切なスクールバスの運行に努めていく。

◆ 文化財係関係

事業とその成果	今後の対策
1 原始・古代ロマン体験館及び黒曜石ミュージアム運営事業	<p>・原始・古代ロマン体験館及び黒曜石体験ミュージアムは、新型コロナ感染拡大の影響により4月9日より臨時休館とし、入館見学の受け入れについては5月26日から再開した。一方、体験学習については、感染対策を行い、9月17日から受け入れを再開した。</p> <p>両施設の入館者総数は、令和元年度の16,228名に対し、令和2年度は6158名で、約38%に留まったが、地元の保育園・小学校・中学校の利用は、年度初めや月曜日などの休館日に実施できたこともあり、前年度と同様となった。</p> <p>・原始・古代ロマン体験館については、新型コロナ感染拡大の影響で、縄文土器づくりの体験利用者は若干減少したが、個人入館者が堅調であった。これに伴って記念品の売り上げは、昨年度より12%を上回る伸び率となった。</p> <p>・黒曜石体験ミュージアムの入館者数は昨年度比で36%に減少したが、団体利用者数1,587人に対し個人来館者は2,875人と大きく上回り、個人来館者の利用が高い記念品の売り上げも、新型コロナ禍にありながら昨年度比で74%と健闘した。体験学習が休止となった期間中に、持ち帰り用の体験キットを用意したことでもその要因の一つとなっている。</p>
2 史跡星糞崎黒曜石原産地遺跡保存整備事業及び発掘調査事業	<p>国の補助事業として平成28年度から5か年計画で取り組まれた星糞崎黒曜石原産地遺跡第1号採掘址周辺の発掘調査と保存展示施設の整備事業が無事終了した。</p> <p>施設の開館は、令和3年7月を目標とし、担当職員による展示の調整作業を継続して実施する。</p> <p>◆事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡星糞崎黒曜石原産地遺跡保存整備事業 43,654千円 　国庫補助11,640千円 　県補助500千円 　過疎対策事業債22,300千円</li> <li>・史跡星糞崎黒曜石原産地遺跡発掘調査事業 3,850千円 　国庫補助1,807千円</li> </ul> <p>*5ヶ年の総額 整備費+発掘経費373,998千円 国庫補助159,508千円、県補助2,500千円</p>
3 「黒曜石のふるさと」創生事業	<p>史跡公園の森林整備、黒曜石のふるさと祭り、歴史遺産を活かしたオリエンテーリングモデル事業の3本を中心に史跡の保存整備と、地域振興を目標とする活用事業を実施した。</p> <p>○史跡公園整備は、展示施設の周囲に横積とされていたこれまでの除間伐材を処分し、粉碎したチップを遊歩道に利用した。</p> <p>◆事業費…198千円：県補助198千円 (森林づくり推進支援金)</p> <p>○第16回目を迎えた「黒曜石のふるさと祭り」には延700名を超える参加者があった。今年度は新型コロナ感染拡大の対策として、会場を「マルメロの駅ながと」とし、実施時期も11月21日～29日の一週間に変更し、長和町民を中心として地域にいながらにして町の歴史に触れるサテライトイベントとして実施した。</p> <p>◆事業費…1,669千円：国庫補助1,354千円（文化庁文化芸術振興費補助金）</p>

<p><b>4 日本遺産事業</b></p> <p>日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の認定に関わる事業も、新型コロナ感染拡大の影響を受けて、事業の主体は今後の事業展開に向けて企画策定に絞られたが、御朱印帳を購入して認定地域全域の土偶などを巡る「三十三番土偶札所巡り」が静かなブームとなり、当町では原始・古代ロマン体験館の個人来館者の伸びにつながった。町独自の取り組みとしては、HPの編集委員会を発足して、編集企画に取り組んでいる。</p>	<p>住民参加型の活用手法を検討する。</p>
<p><b>5 歴史遺産を活かした国際交流事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は「長和青少年黒耀石大使」3期生の英国渡航交流事業が予定されていたが、新型コロナ感染拡大のため、英国・オランダ渡航を1年延期することにした。さらに、長野県内でも感染者の増加が見られたため、大使達の事前研修も集合しての開催は制限し、LINE、Facebook、twitterなどのSNSを利用して、英語の研修や英國博物館のイベントへの作品提供などを行った。</li> <li>学術交流については、平成28年度から5ヶ年計画で実施された星糞崎黒耀石原産地遺跡の第3次発掘調査報告書「鷹山遺跡群Ⅷ」が刊行となつたため、セインズベリー日本藝術研究所を始めとした英国、韓国の諸機関や博物館およびその関係者や研究者などに送付した。その結果、英国側からは、調査成果を海外の学術書で紹介したいなどの申し出があった。</li> </ul> <p>◆事業費…179千円（国内研修ほか）</p>	<p>国際交流事業の将来構想の立案と、保・小・中の一貫した英語教育体制の連携強化を目指す。</p>
<p><b>6 新型コロナ対策事業</b></p> <p>国・県より通達のあった博物館等施設における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインに沿って、中山道や黒耀石の歴史を公開する町内の文化施設における感染予防対策を実施した。</p> <p>町内外からの利用者が訪れる博物館や歴史伝統建造物には、感染症予防に必要な衛生用品、用具を配置し、体験学習を実施する原始・古代ロマン体験館と黒耀石体験ミュージアムでは、体験プログラムの見直しや人数制限と併せて、体験テーブルにパーテーションを設置するなどの改修を行つて事業を再開した。なお、対策事業費は、文化庁の補助制度と臨時交付金を活用して実施した。</p> <p>○事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒耀石体験ミュージアムの感染症防止対策事業 1,142千円 国庫補助571千円 臨時交付金571千円</li> <li>文化財公開施設感染症予防対策事業 1,368千円 地方創生臨時交付金1,368千円</li> </ul>	
<p><b>7 埋蔵文化財発掘調査出土遺物整備事業</b></p> <p>信州大学から寄贈を受けた信州ローム研究会の発掘資料の整理を、平成27年からおよそ10ヶ年計画で継続的に行っていいる。これまでの資料整理の成果の一部は黒耀石体験ミュージアムの展示、または、文化庁主催の列島展でその一部を公開した。</p> <p>○事業費…2,272千円：国庫補助1,136千円</p>	
<p><b>8 町内遺跡詳細分布調査</b></p> <p>国・県の指導により、町全域を対象とした埋蔵文化財包蔵地図の作成を目標として、平成26年度より10ヶ年計画で詳細分布調査を実施している。今年度は和田地区（下深山口から仙ノ倉付近の依田川左岸）の分布調査を実施し、新たな遺跡分布の情報を把握した。</p> <p>○事業費…960千円：国庫補助387千円</p>	<p>町内遺跡分布調査は和田地区踏査の完了を目指す。</p>
<p><b>9 町内遺跡確認調査</b></p> <p>町内の開発行為等に伴う埋蔵文化財の保護業務として、ブランシュたかやまスキー場の試掘調査と姫木平キャンプ場の発掘調査を実施。域内では調査事例の少ない旧石器時代終末期の細石器文化石器群の新たな情報を確認することができた。</p> <p>◆事業費…キャンプ場967千円：町振興公社負担金</p>	<p>町内遺跡確認調査による埋蔵文化財の適切な保存。</p>

## 10 長久保宿・和田宿文化財施設運営事業

- ①長久保宿歴史資料館一福処演屋利用者数 約920人（4/9～6/1コロナ禍により臨時休館、冬季間12/1～3/末の一般公開は閉館）  
 長久保宿丸木屋利用者数 約740人（4/9～6/1コロナ禍により臨時休館、冬季間12/1～3/末の一般公開は閉館）  
 •コロナ禍により利用者減少も、11月にはGotoトラベルキャンペーンを利用した中山道ツアー団体が増加。  
 •長門小学校児童の昔の道具調べ、南部中学校生徒の宿場巡り。
- ②和田宿本陣ほか宿内文化財施設入館者数 1,613人（4/9～6/1コロナ禍により臨時休館、冬季間12/1～3/末は閉館）  
 •コロナ禍により利用者がほぼ半減も、11月にはGotoトラベルキャンペーンを利用した中山道ツアー団体が増加。  
 •南部中学校生徒の宿場巡り。

## 11 歴史の道中山道保存整備活用事業

- ・長久保宿本陣建物現況調査
- ・歴史の道丸太橋架け替え工事 1,661千円

## 12 長和の里歴史館・長和町文書館運営事業

長和の里歴史館・長和町文書館…旧4ヶ町村の明治期から昭和40年代にかけての行政文書の整理収納がほぼ完了。

- ・中山道の国史跡追加指定後に早期整備を目指す長久保宿本陣や和田峠東側屋茶屋跡等の整備事業計画の推進。
- ・両宿場の伝統的建造物は、保存整備に向けた所有者との協議を行うとともに、可能な物件は国の登録有形文化財への登録を図っていく。

(令和3年12月、旧和田中学校校舎ほか宿場伝統的建造物の文化庁担当調査官現地確認・指導予定)

- ・長久保地区では有志によるボランティア団体「歴史の道中山道長久保宿峠道整備会」や「長久保宿を元気する会」が組織され、町民手づくり事業により笠取峠茶屋跡や原道の手入れ、宿場の景観整備等を意欲的に取り組まれており連携に努めたい。

・中山道筋の近隣市町や積極的な取り組み行う団体機関と情報交換、交流促進を図り、中山道の広域的な保存活用における連携強化に努めたい。

- ・令和3年8月の大雨により歴史の道中山道（和田峠道）が広範囲にわたって被害を受けており、この復旧整備を行う。

## 13 町指定文化財補助・町歴史的景観保全事業補助

- ・町指定名勝夜の池（野々入）の太鼓橋修理工事 ◆工事費561千円
- ・町指定文化財補助（立岩薬師堂修理工事補助ほか7件）3,479千円（内、各財産区繰入金626千円）
- ・町歴史的景観保全事業補助（松尾神社参道入口石灯籠修理工事補助1件）181千円

- ・両宿に所在する近世文書は、長和の里歴史館への収納保管に向け個々の所有者に啓発を促し、収蔵主要文書は史料集としてまとめ生涯学習講座や小中学校教材としても利活用を図っていく。

・町公文書で保存期限を過ぎたものの将来的に歴史的価値が生じるものは、長和町文書館（長和の里歴史館）に収集保管して整理を行い、国立公文書館の助言指導を得ながら公開基準を作成し、利活用を図っていく。

## ◆ 社会教育関係

事業とその成果			今後の対策
1 公民館生涯学習講座			
講 座 ・ 教 室	開催回数・期間	参加者数	
古文書教室	10回（月1回）	10名	
彌綱工教室	5回（6月～10月）	5名	
郷土史を学ぶ会	10回（月1回）	19名	
英会話教室	20回（6月～3月・月2回）	15名	
ジュニア英会話教室	20回（6月～3月・月2回）	17名	
バーニングアート教室	6回（7月～11月）	10名	
長和町民大学	令和2年度休止		
俳句会・短歌会	10回（各月1回）	8名	
長和写真教室	10回（6月～3月）	13名	
ヨガ教室	令和2年度休止		
クラフトバンド教室	5回（6月～10月）	22名	
絵画教室	19回（6月～3月）	10名	
ピラティス教室	令和2年度休止		
ハイキングクラブ	令和2年度休止		

・町が掲げる「町民の融和」に、最も有効な機会を提供できるのが生涯学習の各事業であるが、新型コロナウィルス感染拡大が叫ばれる中、やむなく自粛や休止をせざるを得ない状況が相次いで。

・参加者にも協力をいただき、最善の感染防止対策を構築することで、早期に「町民同士が安心できるコミュニケーションの場」を目指していきたい。

・生涯学習講座の一環である「町民大学」については、連携協定先の明治大学との往来が停止されたことから、活動休止となつたがZoomなどを利用した遠隔での講義や、県内大学の協力をいただいたキャンパスツアなどを企画し活動再開を目指す。

## 2 青少年関係事業

- ・成人式 令和3年1月2日を延期し令和3年5月2日に開催
- ・ふるさと探検隊 コロナ感染症の影響により未開催
- ・ジュニアスポーツ教室

Jr. スポーツ教室 等	参加者数	開催回数・期間
少年野球教室	10名	通年
サッカー教室	11名	通年
バレーボール教室	8名	通年
剣道教室	2名	通年
柔道教室	2名	通年
ジュニアスキー教室	52名	6回（1～3月）
空手教室	12名	通年
ゴルフ教室	9名	8回（10～11月）
バスケットボール教室	42名	通年
プールで体を動かそう教室	6名	5回（7月～8月）
ソフトテニス教室	8名	通年
キッズダンス教室	14名	通年

新型コロナウィルス感染対策により活動休止となったもの内、特に「ふるさと探検隊」は長年続く人気のある事業であり、複雑化する子ども社会の中での縦のつながり（年下の子への思いやり、年上の人への尊敬）などを親子で学ぶことを重視した大変重要なものであるので、状況を考慮しながら新しい企画を交えながら、活動の再開を目指す。

## 3 社会体育関係事業

大会・イベント名	開催	期日
県市町村対抗駅伝競走大会	後援	開催中止
スポーツグリューション祭 「ふれあいウォーキング」	共催	開催中止
第15回町民ゴルフ大会	主催	開催中止
町民ハイキング	主催	開催中止
スポーツグリューション祭 「依田宿ブルまつり」	共催	開催中止
依田宿柔剣道大会	後援	開催中止
スポーツグリューション祭 「青木村で遊ぼう」	共催	開催中止
第14回町民運動会	主催	開催中止
スポーツグリューション祭 「スケート場まつり」	共催	開催中止

・現代社会においては、時間的な余裕がなくなりスポーツ及び運動の必要性は認識していても、実際には活動できない人が増加している。

こうした状況を踏まえ、地域住民が気軽に参加でき、多様なスポーツを楽しめるよう各種運動教室を開設し、老朽化や休止中の施設の改善を図り、住民の健康増進・地域活性化のため長和町民一人ひとりのスポーツの実現を目指す。

・一貫指導体制の必要性・高齢者の生きがいの場・競技種目の多様性に対応するため設立した「ながわスポーツクラブ」について、小・中学生を対象としたジュニアスポーツ教室の内容及び活動は充実してきている一方、高校生以上を対象とした事業については会員数の増加に向けて、新たな企画を考える。

今後は、いつでも・どこでも・だれでもが参加でき、種目、世代や年齢、技術等についての多様性を包含できる「総合型地域スポーツクラブ」の内容やあり方等について更に研究し、「ながわスポーツクラブ」の育成に取り組んでいきたい。

## 4 社会教育関係施設整備事業

・山の子学園共同村移転に伴う障がい者支援施設建設と併せて実施を計画している古町コミュニティ施設の整備については、住民の意見を考慮しながら準備を進めてきており、令和3年度から既存の古町公民館の解体撤去、その後現地の埋蔵文化財の発掘作業終了次第建設工事に着手し、令和4年度初頭の完成を目指す。

・公民館施設、体育施設など、老朽化による大規模な修繕、建替えが必要となってくる施設が多く、今年度策定した個別施設整備計画を勘案しながら順次対応していく。

## 5 新型コロナ対応事業

新型コロナウィルス感染拡大により、生涯学習講座をはじめ各種スポーツ教室等は3月から休止を余儀なくされるなど大きな影響を受けた。

今後の事業実施にあたっては感染防止対策の徹底への対応はもとより、内容自体に発想の転換が求められている。

## ◆ 児童館・人権教育・男女共同参画・図書館関係

事業とその成果	今後の対策
1 児童館（児童クラブ）運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度放課後児童健全育成事業（長門、和田児童クラブ 事業費：4,164千円、うち補助金国庫：1,314千円、県費：1,314千円）</li> <li>令和2年度長門児童クラブ・和田児童クラブ利用実績 長門児童クラブ（小学生） 7,598人 1日平均26人 和田児童クラブ（小学生） 666人 1日平均 2人</li> <li>小学校の長期休暇時は来館時間も長く児童数も増える事から、午前と午後それぞれ5名交代で対応した。平日は5～6名で対応している。</li> <li>アルバイトの大学生7人が、元気な児童達と一緒に駆け回って遊んでくれ大変助けられた。代替補助員を含むスタッフが全員で15名になり、勤務態勢の改善に繋がった。有資格者は長門3名、和田1名になった。</li> <li>避難訓練は年4回実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため3回にした。火災や地震発生時、指示に従い素早く避難する訓練を行った。</li> <li>防犯カメラは3基（講堂、駐車場、館庭）ふれあい館に設置している。今年度は、和田児童クラブの玄関に1基を新設した。</li> </ul>
2 人権教育・人権啓発事業	<p>人間としての尊厳と基本的人権の尊重される社会を実現するため、引き続き人権教育・人権啓発活動を推進する。</p> <p>人権教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが関心を持ち、参加してみたくなるような人権教育研修会を企画・周知する。</li> <li>学校教育、社会教育及び企業教育の連携を図り、地域ぐるみの人権教育の推進を図る。</li> <li>町ぐるみで人権問題を考えるための「町民集会」を開催し、「差別のない明るい長和町」を目指す。</li> </ul> <p>人権啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙等に人権問題を提起していくと共に、複数のメディアを利用した啓発活動の推進。</li> <li>花を育てることを通じて、命の尊さ、人権尊重思想を育むことを目的に長門、和田小学校で引き続き「人権の花運動」を行う。</li> </ul>
3 隣保館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣保館活動として開催した講座で住民交流の促進事業を図った。 令和2年度人権・共生のまちづくり事業 (事業費：10,123千円、うち補助金：3,431千円)</li> <li>日々の暮らしの中での身近な心配ごとや悩みごとに對し、住民が無料で相談を受けられる「心配ごと相談事業」を、長和町社会福祉協議会と共同で実施した。</li> <li>令和2年度心配ごと相談事業 (事業費：293千円)</li> </ul>
4 男女共同参画事業	<p>県の人権男女協同参画課と協力し、活動案内への周知活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼少期の頃から性に対する正しい認識を持つことが重要であることから、各機関とも連携を深めながら、男女共同参画教育体制の整備を推進する。</li> <li>ここ数年来の課題である様々な分野での女性のチャレンジ支援、能力活用を促進し、地域の特性を活かした積極的な取り組みをするため、庁舎内各部署と連携を図りながら、男女共同参画推進委員会を活用して事業を推進していく。</li> <li>雇用分野において働く人が性別により差別されることなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分發揮することが出来る雇用環境の整備のために更なる男女雇用機会均等の推進を図る。</li> <li>男女共同参画の推進については、当町を含め、地方の小規模自治体などでは、まだまだ手探りの状態である。正確な認識と知識を得るためにも研修会に積極的に参加していく。</li> <li>町の男女共同参画計画について、国、県の計画が更新されることに合わせて、改正する必要がある。</li> </ul>

## 5 図書館運営事業

・子ども、子育て支援活動の一環で、より多くの絵本に親しんでもらえるように子育て支援センターに絵本の団体貸出を行っている。保護者のための実用書も併せて貸出している。期限は3カ月で100冊までの設定とし、図書館での貸出にも繋がっている。

・エコールのシステム更新にあわせ、H.Pがリニューアルされ以前より使いやすくなった。視覚的にもスタイリッシュな画面に変更され、Web予約希望者も増加している。

・蔵書数については以下のとおり

当館蔵書数 18,576冊 (R3年3月末現在)  
新規図書購入数 294冊 (事業費 499,999円)  
新聞購入 2紙 信濃毎日新聞・東信ジャーナル  
逐次刊行物 8誌 (月刊誌、週刊誌、季刊誌)

・図書館利用の促進を図るために、町広報紙、町民ホール掲示板、町ホームページ図書館コーナーを利用してその存在を広く町内外に知らせていく。

・今後も予算の5%を目途に大型絵本を購入し、子供達はもちろんのこと大人にも絵本の楽しさをアピールしていくたい。

・利用者のニーズに合わせた選書を行い、尚且つ、バランスの取れた蔵書構成を心がける。限られた書架スペースを有効に使うために、適時除籍を行い蔵書のリフレッシュ化に努める。

## 6 新型コロナ対応事業

新型コロナウイルス感染予防対策として、加湿空気清浄機の導入（長門4台、和田3台）、施設内の除菌（テーブル、椅子、トイレ等）、児童や職員の手洗い、うがい、手指消毒、といった対策を行った。加えて臨時休校中は、来館時の検温実施や、保護者に対し家庭での様子を聞き取る等、感染の予防に努めた。

・児童館において新型コロナウイルス対応などのマニュアルを作成する。消毒など、スタッフの負担を最小限に抑える。

・図書館における対策として、館内消毒・利用者の手指消毒・マスク着用・館内滞在時間と人数制限を設けた。  
更に、返却された本の消毒を行っているがコロナが治まった後も続行していく。

## 7、外部評価

### (1) 学識経験者

(敬称略)

水出 一寛	元小学校校長（現 小学校講師）
中原 宏美	元教育委員

### (2) 主な意見等

#### ◆学校教育関係

- ・G I G Aスクール対応事業では、「いじめの道具になったりアダルトサイトへのアクセスがあつたりする等」全国的な課題に対して、学校任せではなく町教委がイニシアチブをとり、具体的な対策やタブレットの使用規定等を積極的に作成し学校へ指導してほしい。
- ・G I G Aスクール支援員の配置など体制をしっかりと整備していただきたい。
- ・時間的な制約はあると思うが、できる限り学校へ足を運び、学校現場に対して実感をもって実態把握してほしい。特に現場の教職員の声をしっかりと自分の耳で聞き、現場の様子を自分の目で見てほしい。
- ・教員住宅の整備と活用を図っていただきたい。
- ・子どもの進学、進路について、中学卒業後の相談ができる窓口、相談員を配置していただきたい。

#### ◆文化財関係

- ・貴重な文化財がたくさんあることがよく分かる。これらの文化財の情報を町外へ発信し、観光と結びつけること等を大事に考えてほしい。特にビーナスライン周辺から距離的に近いこともこれらの情報の売りになると思う。
- ・「本町に関わる人材」についても資料を整理し誰でも閲覧できるようにしておく必要がある。

#### ◆社会教育関係

- ・今後も魅力的な学習講座や各種スポーツ教室等を企画してほしい。

#### ◆児童館・人権教育・男女共同参画関係

- ・「安全確保の観点から外遊びは施設の敷地内のみを徹底させる」とあるが、なぜ長門小学校の校庭の活用はできないのか。アルバイト学生やスタッフ全員の人数を考えれば、安全確保はできるように思える。また、敷地内に留めておくことは児童にとってストレスになるのではないか。

- ・「高学年児童と低学年児童を分けて対応するのが望ましい」とあるが、本当にこれで良いのか。現在、教育現場では「異年齢集団による学び」が見直され重視されている。児童館こそ、異年齢集団による子ども同士の学び合いができる場ではないかと思う。また、県教委は「障害をもった子どもも障害をもたない子どもも一緒に学び合うインクルーシブ教育」を推進している。そのための「合理的配慮」が学校などの現場に義務付けられている。児童館でも当然「合理的配慮」について研修し、実践していく必要があると思う。

- ・「放課後子ども教室を立ち上げる」とあるが、具体的な見通しはあるのか。実際に立ち上げるのは誰がやるのか。引き受ける人材はいるのか。

- ・「下校時刻から午後5時くらいまでは児童たちが玄関前で遊べるように完全に駐車禁止にしたい」とあるが、図書館利用者や隣保館利用者の方に不都合はないのか。また、土日曜日も駐車場がネットで囲われているが「下校時刻から午後5時まで」以外も駐車禁止にしているのか。

- ・「年々クラブの申し込みが増加傾向にあり居場所が不足している」とあるが、どのような対応を考えているのか。

- ・児童クラブの運営にあたり、施設が狭いとのことであるが、コロナ対策で「密」を避けるためにも改善をお願いしたい。

- ・活躍されている女性もいるので、活動を支援できるような取り組みをお願いしたい。

#### ◆図書館について

- ・「大人にも絵本の楽しさをアピールしていきたい」というのは大変重要なことだと思う。ぜひ、このことを具現化してほしい。
- ・「利用者のニーズに合わせた選書を行い、尚且つ、バランスのとれた蔵書構成を心がける」という方向性は大変重要だと思う。このために、図書館司書らと共に具体的な実践をしてほしい。
- ・住民へのサービスを提供する図書館が、なぜ日曜日休館になったのか。  
図書館利用者（町外も含む）や地域住民からするととても不便になる。特に、平日勤めている者や家族で利用したい者等にとっては不便だと思う。エコールでつながっている他市町村の公共図書館が日曜日に開館しているのに、本町の図書館だけ閉館していていいのだろうか。疑問に思う。
- ・図書館は、学校教育や社会教育（生涯教育）・家庭教育においても重要な場所であると思う。親子で本に親しむ場になったり、様々な人が本への興味関心を高める読書の楽しさや良さを味わう場になったりすることが求められていると思うので、本町らしい特色のある図書館運営を心がけて利用者の増加につなげてほしい。
- ・図書館の蔵書の充実を図るとともに、子どもの学習スペースを確保してほしい。

#### ◆総論

- ・児童館や図書館のことは細々と記述したが、それぞれの施設本来の目的をもう一度再認識し、その目的の実現に向かって地道に一步一步進めていくことが町全体の教育の質を高めたり、住民が求めるサービスを提供したりしていくことにつながると思う。
- ・コロナ対策について、速やかに適切な対応ができていた。
- ・教育委員会所管の各施設について、町民の方、地元の子どもなど利用しやすい周知や取り組みを検討していただきたい。（例えば「星くそ館」親子ツアーや企画等）